

冬の蝶たち

蝶は卵・幼虫・蛹・成虫のいずれの形で越冬しています。そして、春が来るのを待っています。



ゴマダラチョウの幼虫



クロアゲハの蛹



ウラギンシジミ (成虫)

- エノキの根元の積もったエノキの枯葉をめくるとゴマダラチョウの幼虫がいました。エノキの葉裏にへばりついていて、ちょっと見ただけでは気づかない保護色（枯葉色）でした。（古民家横のエノキの根元で観察）
- クロアゲハの蛹を見つけました。アゲハチョウ科の多くは蛹で冬を越しているのです。（川名大池近くで観察）
- 常緑樹のアオキの葉裏で身を潜めて寒さに耐え越冬しているウラギンシジミの成虫を見つけました。（湿生植物区近くの林縁で観察）
- アカジジミなどシジミチョウ科の一部などは卵で越冬しています。

蝶の越冬場所を探しながら、冬枯れの雑木林などを散策してみてもいいでしょう。

冬でも見られる蝶（成虫）

			
ウラギンシジミ	キタキチョウ	アカタテハ	キタテハ
			
ヒオドシチョウ	テングチョウ	ムラサキツバメ	ムラサキシジミ
		<p>新林公園では10種類が成虫で越冬しています。</p> <p>(2016年12月新林公園みどりの会 上村文次作成)</p>	
クロコノマチョウ	ルリタテハ		